



糸孫農園 21代目 伊藤一美さん

e-yan みかん物語

in 有田みかん発祥

いとまご
糸孫農園

冬にはこたつ。こたつには有田みかん。その有田みかんを代々受け継いできた糸孫農園の伊藤一美さん。糸孫農園は今年の有田クオリティー最高得点に輝いたみかん農園であり、有田みかん発祥の伝統ある農家だ。

有田みかん誕生

伊藤さん——元々は先祖が肥後の国（今の熊本県）からみかんの木をもらってきました。それを有田の橘という種類のみかんの木に接ぎ木して現在の有田みかんになっています。

と伊藤さんは語った。橘よりも味、香り、見た目が良かったみかん。すぐに有田じゅうに広まり有田のみかんは美味しいと有名になった。

「みかんづくり」への思い

伊藤さんにみかんづくりへの思いを聞いた。

伊藤さん——まず、お客さんを裏切らないという想いがあります。その為に最高の状態で摘み取り、お客さんに届くようにしています。

その結果、有田クオリティ最高

達人の技!!

数え切れないほどのみかんを見てきた伊藤さんから美味しいみかんの見分け方を聞いてきました!

- ①オレンジ色が濃い
- ②油胞（皮の表面にあるつぶつぶ）が細かくて多い
- ③皮が締まっていて薄い



是非 おいしのみかんをご賞味ください!

得点を獲得されていますが、今どのようなお気持ちですか?

伊藤さん——有田市のお墨付きがついて、恥じるようなことは出来ません。だからもう一段階上を目指す意欲が湧いてきます。

みかんをどのように広めていきたいとお考えですか?

伊藤さん——みかんのいいところを大事にしたいです。特にみかんの食味を伝えていきたいです。糖度や酸味の数字だけでなく、実際に食べてもらいたい美味しいと

感じて購入してほしいです。

今後のみかんづくりで目指すものはなんですか?

伊藤さん——去年と同じことをしていたらそれは後退です。少しでも先に進めたら次へのヒントに繋がります。もっとおいしいみかんを作り、お客さんに食べてもらって幸せになってもらいたいです。

今回は糸孫農園の伊藤一美さんからお話しをお伺いしました。



有田みかんの歴史についてアツク語っていただきました!

e-yan 取材・編集
近畿大学 中田好美
近畿大学 平田和也

e-yanの詳細はこちら